

教育目標：なかまとともに、進んで学び、たくましく、思いやりのある子どもの育成

細野小学校  
学校通信

## 桜の学び舎 細野小

令和2年度  
第3号（6/1 発行）

BC（ビフォアコロナ）からAC（アフターコロナ）へと、私たちも新しい生活スタイルに移行していかなければなりません。学校もなんとか再開することができ嬉しく感じているところです。学校再開後の主な行事を紹介します。

### 5・6月の主な行事の紹介

#### 1年生へ手作りマスクの寄贈 5/21

当日は、倉田富夫 区長様と、一緒にマスク作りをされた 倉田玲子様にも御臨席をいただきました。1年生も大喜びです。本当に有り難うございました。

マスクを手渡す 宇都 様



令和2年5月27日（水）宮崎日日新聞

◆高齢者グループ「響サロン」（21日、小林市・細野小）手作りの布マスク47枚を1年生と教職員に寄贈。宇都暁美代表は「少しでも子どもたちのためになればという思いで作った。楽しい学校生活を送ってほしい」と話した。

【宮崎日日新聞社からの使用許可を得て掲載しています。】

#### 大切な命を守る救命講習 5/27

水泳指導は、県・市教委の方針のもと、クラス別の少人数指導を行うなど感染症対応にも十分に配慮しながら実施する予定です。緊急時も適切な対応ができるよう全職員でAEDと心肺蘇生法による救命処置の研修を実施しました。

【緊急時の対応】誰が何をすべきかを明確にします。

学校にあるAEDは開いてスイッチを入れます。

〇〇先生はAED、  
〇〇先生は救急車  
をお願いします！

養護の江藤先生

心肺蘇生法トレーニング  
キットを使って…

ハートの両面がそれぞれ大人用と子供用になっており、「ピッ」と音が鳴るまで押えます。

## アオバズクの「アオちゃん」と学校再開！ 5月下旬

学校のせんだんの木に アオバズクの「アオちゃん」 が来ているよと子供が教えてくれました。なるほど「アオちゃん」いい名前ですね。

やさしさいっぱい細野小だから飛来するのでしょうか。「アオちゃん」と一緒に学校が再スタートでき、とても幸せです。



## 「耳育て」は「脳育て」 全校朝会 6/1

新型コロナウイルス対応で、6月の全校朝会は、校内放送で行いました。今回は、校内放送の音声に注意を向けさせ、「**聴く**」ことの大切さについて話をしました。

**脳の成長には「時間」が必要！「話しかけたら、ちょっと待つ」が、脳を成長させる。**

その理由は・・・

- ※ 脳の成長のためには“脳が働いている時間”を増やすことが大切！
- ※ 「早く」「まだ？」が考える機会を奪い、脳の動きを止めてしまう！

子供は、大人よりも脳内での処理時間が数倍かかります。それは、まだ脳をつなぐネットワークが十分でなく、砂利道のような状態だからです。このネットワークが砂利道の時は、ゆっくり進むのが正解。ゆっくり着実に進むことで地ならしをし、スピードが出せる舗装道路を作りあげるのです。

この舗装道路を作りあげる「**もどかしい時間**」が、**脳の成長には必要不可欠**。反応がないからと言葉をかけ続けたり、遅いからと、すぐ手を貸したりしてしまうことは、子供の脳の活動を妨げます。**焦らず、「ちょっと待つ」**ことが大切です。

## 「ふれあい登校」も再開します。 6/10

地域の方から、「ふれあい登校はいつから始まるのですか？」と嬉しいお問い合わせをいただきました。6月10日（水）から再開します。ただ、今回は、登校後のイベントはありませんが、今後、感染症対策を徹底し、登校後の活動メニューも再開していきます。

「ふれあい登校」とは、下記のねらいで、高齢者と子供と一緒に登校するものです。

地域の「**高齢者**」と「**児童**」が**一緒に登校**することで「**みんなが笑顔**」に！

**健康増進・生きがい**

**安心安全な登校・ふれあい**

